

N	O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
302		地歴	地理総合	2	必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材		
3	なし	なし	新選地理総合（実教出版）		

目 標

地理総合の学習を通じて、広い視野に立ちグローバル化する社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な資質や能力を養う。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
地理的諸事象について理解できるとともに、地図や資料を用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互関連を多面的多角的に考察したり、効果的に説明したりする力を養う。	よりよい社会の実現のため課題を主体的に研究解決しようとするとともに、日本国民としての自覚、国土に対する愛情、世界の多様な文化を尊重する態度を養う。

単元・作品名	学習内容	到達 度 目 標
前 期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や地図、地理情報システムの活用法を身につける。 国家の領域、日本の位置と領域等を理解できる。 ヒト・モノ・情報のグローバル化の状況を理解できる。
	生活文化の多様性と国際理解	
後 期	地球上の位置と国家 グローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 地形と生活文化の関係を考察しその特徴を理解できる。 気候と生活文化の特色を考察しその特徴を理解できる。 国家、民族、言語などに関わる諸事象について空間的な規則性や傾向性の結びつきについて理解できる。 ヒンズー教やイスラームと結びつく文化の成立過程を考察しその特徴を理解できる。 世界の多様な民族言語について理解できる。 国家の統合と生活文化について成立過程を考察しその特徴を理解できる。 国家の拡大・変容と生活文化について成立過程を考察しその特徴を理解できる。 他民族多文化の共存と生活文化について理解できる。 移民と多文化共生社会の形成の歴史的過程を考察し理解できる。 先住民と移民による多文化社会の発展について学ぶ。
	地形・気候	
	国家・民族・言語の結びつきと生活文化 アジア	
	ヨーロッパ・ロシア アフリカ アメリカ・オセアニア	
後 期	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 人口問題、食糧問題、その要因と解決に向けた課題について考える。 エネルギー資源の開発と限界、新たなエネルギー資源への取り組みとその問題点について考える。 地球温暖化や様々な地球環境問題についてその原因を捉えて意見を述べ、国際協力の在り方について考える。
	自然災害と防災	
	地震・火山災害 様々な気象災害	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境を知り、地震や津波の発生の危険性の大きさを理解して向き合い方を考える。 風水害や雪害、高温への対策について考える。 防災減殺への取り組みについて、自分たちに何ができるかを考え話し合う。

取得可能な検定や資格

なし